

2016, 11, 5 歴史探訪・紅葉の峰床山・八丁平トレッキング記録

「良いお天気。まさにトレッキング日和ね・・・」と心弾ませ出発。登るにつれ紅葉・黄葉は変化し、素晴らしいグラデーション・・・。「ちょうど良い時期ね」など談笑しながらのトレッキング。鯖街道は、「オグロ坂峠まで23個の曲がりがあった」と神戸からご参加のNさん。「えっ・・・本当・・・」とみなさんニコリ。今年は暖かいからか、ナメコは小さく、少し収穫しました。久しぶりにツチアケビに出会いました。「最近無くなったね。」「お花が見たいね」など話ながら写真を撮りました。鹿がのんびりくつろいでいるようで、「こちらを見ているけど逃げないね。」など、私たちものんびり心和むひと時でした。帰りに、久多の志古淵神社に寄りました。「志古淵信仰は、安曇川流域固有のものよ。この地方は。花笠踊りがあるそうよ。」など話題になり、みなさんご興味を持たれ、お参りと観光に。そして道の駅藤樹の里あどがわに寄りお土産購入など楽しみました。今日も自然に感謝。出会いに感謝の一日でした。

◆歴史探訪☞鯖街道：「若狭湾でとれた鯖を一塩して夜も寝ないで京都まで運ぶと、ちょうど良い味になっていた。」とよく言われます。この道は鯖だけでなく多種の海産物が運ばれています。いわゆる、北前船から陸揚げされた物資も盛んに輸送されました。鯖街道の実質的な起源は極めて古く、はるか千二百数十年の奈良の都、平城宮の跡から発掘された木簡に、若狭から送られた鯛の酢を始め、すでに10種に近い魚介（貝）の名が見えています。まら、塩を送った多数の荷札が見だされており、鯖街道は、まさに塩の道でもありました。ところで、日本海と都を結ぶ鯖街道は、また政治の道、軍事の道、特に文化の道でした。さて、鯖街道は、決して単に、小浜と京都を結ぶ一本の道のみを意味しません。若狭湾岸の幾つかの地点から多数の道が京都へ、遠くは奈良へ飛鳥へ、さらに丹波の篠山などへと通じていました。日本海の幸を送る通称鯖海道は大陸などの文化を届け、また、都から幾多の文化を、この地方（小浜）に召集しました。

☞久多の志古淵神社：シコブチ信仰は、京都府と滋賀県に流れる安曇川流域固有の信仰神です。久多の志古淵神社近くには、安曇川に注ぐ久多川の流れがあり、筏流し、ガワタロウ（河童）の伝承とも深くかかわる。祭神は志古淵神。

☞オグロ坂峠：織田信長が朝倉攻めに失敗し京都に引き上げる時、しんがりをつとめた徳川家康が通った所で、オグロ坂峠から鞍馬に出て京都に帰った。

◆トレッキングの様子



鯖街道を行く 1



2



オグロ坂峠から峰床山へ



鎌倉山の紅葉を楽しむ



峰床山の紅葉 1



峰床山の紅葉 2



峰床山の山頂 1



峰床山の山頂 2



八丁平に入る



八丁平



六尺道



オグロ坂峠

◆自然観察



きのこ



きのこ



マムシグサ



アシュスギ



紅葉



紅葉



峰床山であった鹿



八丁平の紅葉



八丁平の紅葉



八丁平の紅葉



なめこ：小さいので観察のみ



八丁平



八丁平で出会った鹿



奇木

久しぶりに出会いました。
超感動！！



八丁平：紅葉



八丁平 ツチアケビ



帰り：鯖街道の紅葉



帰り： 鯖街道の紅葉